

夕刊 新報 日八十月五年十和昭

市設図書館は斯くあ

田中伸一郎

新興工業都市「大平市」築物内に網羅することは全...

新妻久満男選

梅 赤羽松堂選

五歳のなが病に色褪せし、布團の模様も心...

弟

N U 生

中學校に通弟であるが、最近では年輪でも...

朝日子の映りて山家の...

天長節 珠雲 小野 務平

潮聲視静抄帳 梅 赤羽松堂選

歸郷 星のきれいな静かな夜...

誰が殺したか 國枝史郎作...



初夏の女は、ほんのり...

まで訪ねて行きました...

吉田眼科病院 待たずには花の目...

新車御披露! 時代ノ尖端皆様ノ昭和タクシ...

石炭 一〇〇%サーウ井ス...

眞の流線美...

先づ御待下さい...

尼子自動車商會...

大内接骨院...

余織田材木商店...

石炭 一〇〇%サーウ井ス...

眞の流線美...

工場擴張報告...

合資會社 吉伴製作所...

西村屋藥局...

店員募集...

先づ御待下さい...

尼子自動車商會...

大内接骨院...

余織田材木商店...

石炭 一〇〇%サーウ井ス...

眞の流線美...

輕燕斜なる本町通り

流線型自動車は飛ぶ

ハイヤの豪華は断然東北

垣々の如き街道を、宛然の面を挽く様な自動車の数々。中にもガソリンの悪臭すら残さず去るが如く、去るウルトラ流線型に至っては、まさに「輕燕斜」を受けて斜なるの清新且つ超高速の趣がある。楊の、アカシヤの並木こそ無ければ、この美化された平町の街貫道は、現代の高級自動車の吹っ飛ばす光景は、まさに近代大都市の縮図と見ることが出来る。斯くして恰も中風病みの様に手間ひまに構はず市中を徐行して客を拾ふの破れた乗合は、自らすすんで昨今の目まぐるしい競争場裡から人為的に自然的にも淘汰される勢ひとなつて、昨今自動車の屋と云はる程の處には何處のガレージにも一二臺の所謂流線型を並べて置く位は無い位になつた。何と論議したる大平町交通文化の向上よ！而も斯の如き新車の購入の競争は必然の結果として、昨今平町東北の新車オン・パレードを展開し、なまなま外來者への恩恵に生きたる田舎町に踏んで来た外來者は、一度自動車に乗るに及んでの意外なスポンヂ・クッションに驚異の眼を睨る様な。平町を心臓部として毎日各方面に動いて居る平町管内の自動車数は、貨物四十一臺、貨物七十三臺、定期乗合七十一臺、營業用貨物十臺、同上乗車六臺、合計二百一臺で之に植田、四倉兩管分内を併せると更に何割かを増す事にならう。

外來者は驚く

昭和人絹は将来日産十五噸計劃 來廿日着業十一月末完成

大バス

競争時代現出か 新優良車を迎へて 尼子で遊覽部開始

青年團總會

最先に道路網

調査大綱に進む

夜住吉屋本店に於て開かれ六ヶ村の水田約八百餘町歩を潤す上野野村地内鮫川堰第一工区工事の同村取入口で大懸橋を築き、第二期下流より大字流地内大懸橋工事は近く着工明年末迄の水路改修工事は工費四萬に完全に通水するので萬二千餘圓で進中の處處三十年來これが復活を熱望してゐた灌漑地は何れも歡々此程慶びた。

常夏の温室にメロンは太る 神谷分場の作柄良好

昭和人は将来日産十五噸計劃

來廿日着業十一月末完成

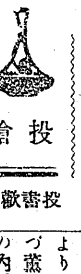
三歳位迄が危険

死亡率の最高は乳呑兒

平町既往五年の統計

熱湯を浴び

抗熱毒の熱湯浴



投槍

投槍 歡迎書投

達ふたが百年目と逃げた元雇人を殴る 昨日谷川瀬途上の喧嘩

日支事件の勇士 宴會歸りに暴行 平署の厄介になる

佐藤直治君 日拳へ入所 將來を劃目する

平町既往五年の統計 死亡率の最高は乳呑兒

熱湯を浴び 抗熱毒の熱湯浴

川中佐佐木 佐川中佐佐木

日支事件の勇士 宴會歸りに暴行

平署の厄介になる

熱湯を浴び 抗熱毒の熱湯浴

投槍 歡迎書投

御會葬御禮

自慢の

武田肉店

父永山小平儀病氣療養中の處石効無く五月十五日午前八時死去仕候間御通知に代へ此段謹告候也

御會葬御禮

日傘 パラソル

天下第一品散

桑原商店

株式買賣 債權取立

御會葬御禮